



子供と向き合うための働き方改革 part2

「おびにしわくわく通信40号」で掲載したように、「働き方改革は、教職員がしっかりと休養を取ることで、集中力が高まり、自分の趣味などに打ち込むことで、いろいろなアイデアが生まれ、リフレッシュして、子供ともっと向き合うことができ、授業改善にも繋げることができる」と書きました。そこで、働き方改革の一つとして、次のような改革をお願いしたいと思います。

水曜日の午前中を5時間授業にする!

1~3年生の
下校目安
※委員会の日の
4年生下校時刻

日課表は、以下の様に考えています。

8:15	8:20	9:00	9:10	9:50	10:00	10:40	10:50	11:30	11:40	12:20	13:05	13:30	13:45	14:30
健康 観察	1校時 (40)	休み 時間	2校時 (40)	休み 時間	3校時 (40)	休み 時間	4校時 (40)	休み 時間	5校時 (40)	給食 (45)	わくわくタイム (25)	帰りの会 (15)	6校時 (45)	

- ※ 1~3年生は、帰りの会后下校となります。
- ※ 水曜日の6校時には、クラブ活動、委員会活動、通常授業が予定されています。クラブ活動には4年生以上、委員会活動には5年生以上が参加します。
- ※ 5・6年生は、水曜日は、原則6時間授業となります。
- ※ 4年生はクラブ活動がある日は6時間授業、委員会活動のある日は、帰りの会后下校となります。下校時刻が変わってくるのでご注意ください。

今回の改革は2学期から行う予定です。習い事やデューサーサービスを利用しているご家庭は、今のうちから時間の調整など、お願いします。

働き方改革は、子供たちのための改革になると思っています。これからもご理解とご協力をお願いします。

子供と話し合って生活ルールを決めよう

2学期から上のような日課になりますが、せっかくの機会ですので、今一度お子さんと「帯西レッド」の心を伸ばすためにも、生活ルールの見直しをしてみたいかがでしょうか。生活改善する第一歩は、ルールづくりです。ルールは親が一方的に与えるのではなく、お子さんと話し合っつくり上げてください。自分がつくったルールの方が納得して守ろうという気持ちになるからです。例えば、起床・就寝時間、家庭学習時間、テレビやゲームの時間、読書時間などです。

しかし、ルールを決めても、きちんと守らなければ意味がありません。子供のやる気に任せるだけではなかなか難しいので、ルールづくりに続き、ルールを守りたくなる仕組みづくりを検討しましょう。例えば、ルールを守れたかを毎日チェックして記録したり、表を作成して見やすい場所に貼ったりして仕組みをつくるのです。そうして、努力の積み重ねが見えるようにして、その努力を認めることで、お子さんの大きな励みとなり、続けていこうとするやる気の原因力になります。

